

街歩きヒストリア



長寿園の桜 明田弘司撮影 公文書館提供

長寿園の桜

④

戦前、白島の太田川左岸河川敷には比治山と並ぶ桜の名所「長寿園」がありました。

明治43(1910)年に西白島の商人・村上長次郎が土手に桜の苗木を植え、大正5(1916)年に一般公開されたのが始まりです。やがて対岸にも桜が植えられ、昭和に入ると兩岸に花吹雪が舞うようになりました。

戦後は都市計画によりその姿を消しましたが、現在は再び桜が植えられ往時を偲ぶことができます。

(文・片山典子さん)

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力
を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。
公募で集まった制作スタッフが編集します。



現在の長寿園桜並木 井伊真由美さん撮影